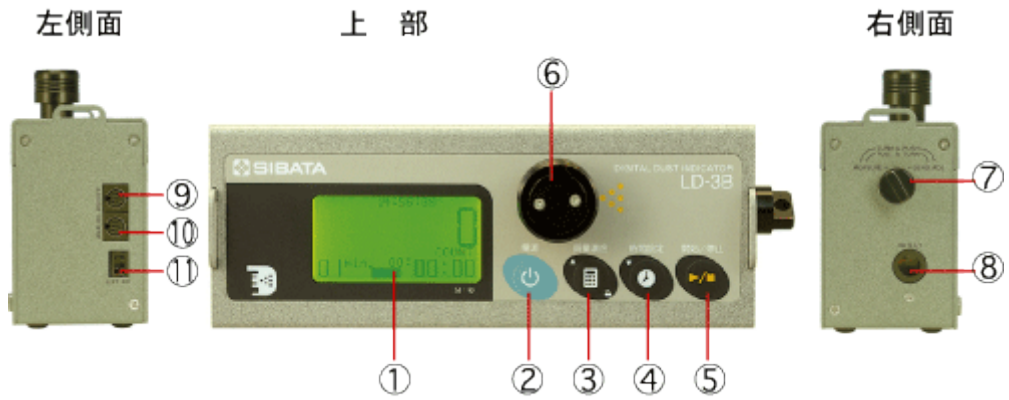
デジタル粉じん計

デジタル粉じん計　“ダストメイト”LD-3B 型・LD-3C 型　簡易取扱説明書

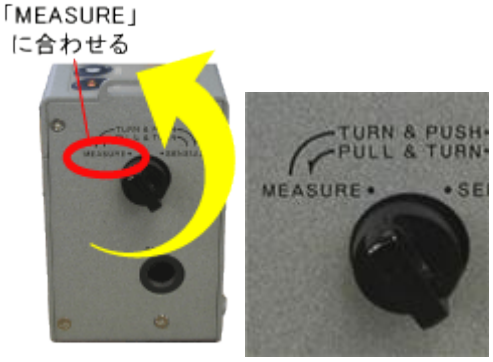
■各部の名称



①液晶ディスプレイ
②電源スイッチ
③質量濃度スイッチ
④時間設定スイッチ
⑤開始/停止スイッチ
⑥採気口各部の名称
⑦測定/感度合せ切替えノブ
⑧排気口
⑨USB/RS-232C 出力（LD-3B 型のみ）
⑩パルス出力・電圧出力
⑪外部電源コネクター各部の名称

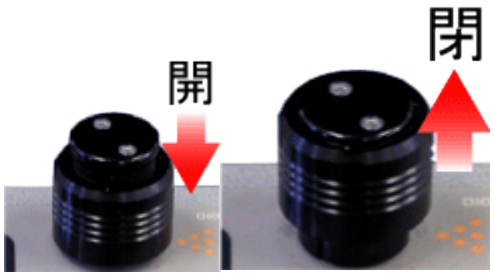
1.【BG（バックグランド）測定】

※下記手順の 1～2 を実行してから電源を入れてください。



1.

⑦の「測定/感度合せ切替えノブ」が MEASURE（メジャー）の位置にあることを確認します。
※SENSI ADJ になっている場合、ノブを引出し、左に回して MEASURE の位置にします。



2.

⑥の「採気口」のカバーが閉じられていることを確認します。
開いている場合はカバーを上げて閉じます。

3.

電源を入れて 1 分待ちます。
（内部を清浄にするためです）

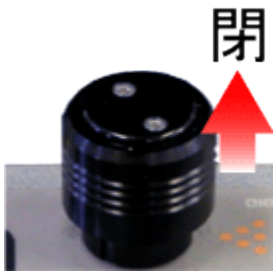
4.

④の「時間設定スイッチ」を押し、BG を表示させます。
（数回押していくと BG と表示されます）

5.

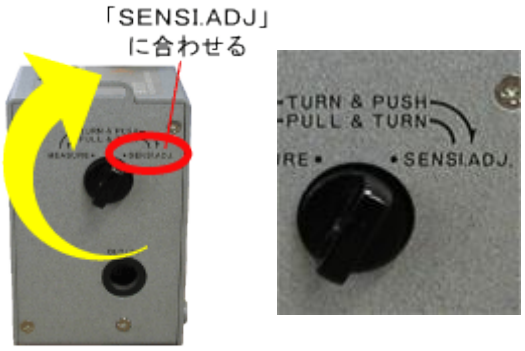
⑤の「開始/停止スイッチ」を押し、6 秒待ちます。
6 秒後に自動的にバックグランド測定が終了します。

2.【感度合わせ（スパンチェック）】



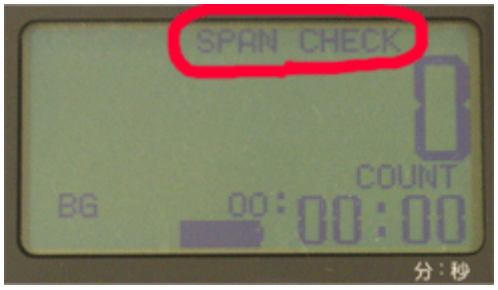
1.

⑥の「採気口」のカバーが閉じていることを確認します。（スライドして上げます）



2.

⑦の「測定/感度合せ切替えノブ」を時計方向に回し、SENSI ADJ（センシアジャスト）の位置で押し込みます。



3.

ディスプレイに SPAN　CHECK（スパンチェック）と表示していることを確認します。

4.

⑤の「開始/停止スイッチ」を押し1分待ちます。
（測定中は表示の数値が増えていきます）

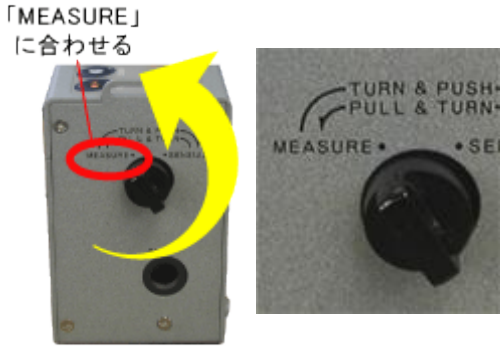
5.

※1 分後、数値か粉じん計固有のS値（標準散乱板値）、またはその近辺の値で止まり、計測が終ります。

※感度合わせとは、この計測で値をS値

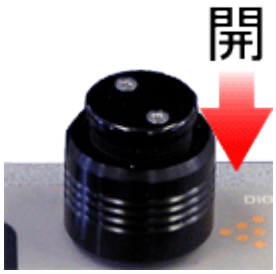
に合わせることを意味しますが、ズレの補正は測定器自身が行いますので、計測後、手動で値を合わせ込む必要はありません。

3.【測定】



1.

⑦の「測定/感度合せ切替えノブ」を引き出し、左(反時計)方向に回してMEASURE(メジャー)の位置にします。



2.

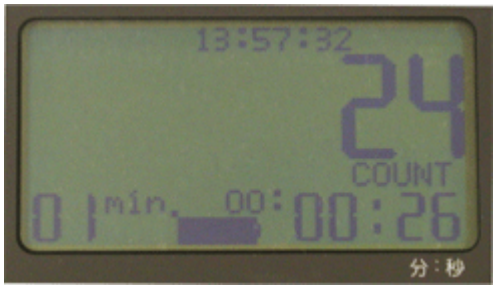
⑥の「採気口」のカバーを開きます。
(スライドさせ下げます)

3.

④「時間設定スイッチ」を数回押しすと測定時間(例えば1分)を設定をします。
※測定時間を 1 分にする場合、ディスプレイ表示を 「BG」から「01min.」にします。

4.

⑤の「開始/停止スイッチ」を押します。



～1 分後測定終了～

5.

粉じん計の測定値は cpm（1 分当たりのカウント値）で表すことになっていますので、表示された値を測定時間で割って cpm 単位に直します。
※1 分測定で 42count と出た場合は 42cpm という結果になります。
この値に質量濃度換算係数K値を掛けると粉じん濃度を mg/m^3 の単位に変換できます。
事前にK値を測定器に入力しておいて測定後③質量濃度スイッチを押すと mg/m^3 の単位で結果を表示できます。